



「地質の日」のイベントが全国の博物館等で開催

—5月10日地質の日 第17回事業の紹介—

令和6年5月1日
一般社団法人日本地質学会

発表形態：資料送付

発表先：文部科学省記者会，科学新聞社

解禁日時：資料配布と同時

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

一般社団法人日本地質学会(以下、日本地質学会)が主要加盟団体として参画する「地質の日」事業推進委員会*1は、5月10日の「地質の日」を記念して、特別イベントを開催いたします。

■ ポイント ■

- ・ 5月10日の「地質の日」を記念して、全国の自然史系博物館等で多数の記念イベントが開催予定。
- ・ 今年も地質を自宅で楽しみながら学べる、博物館や関連機関で作成されたデジタルコンテンツ(動画、よみもの、クイズ、パズルなど)へのリンクをまとめたウェブサイトを開設。
- ・ 一般市民の方々が“地”球の性“質”(地質)を知るための絶好の機会。

■ 概要 ■

日本地質学会が主要加盟団体として参画する「地質の日」事業推進委員会*1は、全国の博物館等を拠点に行なわれる5月10日「地質の日」の第17回記念事業を推進しています。

地球生命史、地球環境、自然災害を理解するうえで重要な地質について、より身近に知っていただくために、2007年に地質関連学会・機関が発起人*2となり、5月10日を「地質の日」と決めました。そして、これを記念して、毎年5月10日前後に全国の自然史系博物館などで多数の記念イベントが開催されており、「地質の日」事業推進委員会*1は、これらの記念事業を推進しています。本年は4月25日現在で30を超えるイベントが予定されています。

また、「地質の日」事業推進委員会*1では本年も、経済産業省本館ロビーにおける特別展示、そして、ウェブサイト「あつまれ！地質を楽しむデジタルコンテンツ」の運用を行います。ウェブサイトは、博物館や関連機関で作成されたデジタルコンテンツ(動画、よみもの、クイズ、パズルなど)へのリンクを集めたポータルサイトで、自宅にいながら地質を楽しみながら学ぶ



ことができます。ウェブサイトは国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、産総研)におかれています。URL は以下のとおりです。

地質の日トップページ:<https://www.gsj.jp/geologyday/>

あつまれ！地質を楽しむデジタルコンテンツ:<https://www.gsj.jp/geologyday/homestudy.html>

■ 「地質の日」事業全般の問い合わせ先 ■

地質の日事業推進委員会事務局（産総研地質調査総合センター）担当：宍倉、須田、長江
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

E-mail :geologyday-jimu-ml@aist.go.jp

資料 1)地質の日ポスター(地質の日 WEB サイトからダウンロード可。再配布自由。)

資料 2)予定されている記念イベントの一覧(2024 年 4 月 25 日現在)

*1 「地質の日」事業推進委員会: 日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本第四紀学会、産業技術総合研究所地質調査総合センター、道総研エネルギー・環境・地質研究所、全国科学博物館協議会、国立科学博物館、日本科学未来館、神奈川県立生命の星・地球博物館、全国地質調査業協会連合会、東京地学協会、日本鉱物科学会、日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 (順不同、2024 年 4 月現在)

*2 発起人:日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(国研) 産業技術総合研究所地質調査総合センター、(地独) 道総研エネルギー・環境・地質研究所、神奈川県立 生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構 (順不同)

《備考》

■ 地質とは ■

私たちの住んでいる大地は、地層、岩石、土壌などでできています。これらの物質やその性質のことを「地質」と呼びます。人間に例えれば、地球の表面を覆っている服(植生)をめくった体そのものと考えて良いと思います。

地質は、エネルギーやさまざまな材料の素となる鉱産資源や温泉のような豊かな恵みをもたらします。また、地質を知ることによって、構造物の基礎や地下施設の安全な設計をすることができます。



さらに、地質を理解することは、地震、火山噴火、斜面崩壊などの発生メカニズムを理解したり、災害を予測したり、被害の低減を図る上でも、大変重要です。

■ 地質の日制定の社会的背景 ■

現在、地質への一般の関心は残念ながら高いとは言えません。専門とする教員がいな
いために地質を十分に学ぶことのできない高校が多くあります。小学校・中学校でも、教員
が地質をあまり学んでいないために教えることさえままならなくなっていると言われていま
す。しかし、私たち人間が地球上で、安全安心で豊かな生活をしていくためには、足下の
身近な地質について知っておくことが必要です。地質の日事業推進委員会を初めとして、
地質に携わる者は、一般の人々に身近な地質について興味を持って頂き、地質への理解
が深まることを期待しています。

■ 地質の日制定の経緯 ■

「地質」の記念日を作ろうという動きは 2000 年頃から当時の通産省地質調査所でありま
した(地質ニュース 547 号など)。その後、しばらく動きが途絶えていましたが、2006 年 8 月
に茨城大学理学部の天野一男教授が「地質の日」制定の提案を学会の広報誌(地質学会
News、2006、8 月号)に寄稿したことを契機に、再び「地質の日」制定の気運が高まり、
2007 年 3 月 13 日に地質に関係した学会・機関*2 が発起人となって「地質の日」を定めま
した。

■ 地質の日の由来 ■

“お雇い外国人”地質学者ライマン(米国)らによって、明治 9 年(1876) 5 月 10 日に日本
初の広域的な地質図「日本蝦夷地質要略之図」が刊行されたことにちなみます。明治 11
年(1878 年)には、イギリスから招聘されたゴッドフレーにより「日本地質略図」が発表され
ており、明治の初期にわずか数年で、日本全国の地質図を作成したことは驚くべき成果で
す。なお、明治 11 年(1878) 5 月 10 日には、初めて地質の調査が国の事業の中に位置づ
けられたということもあり、地質には縁の深い日です。

■ 地質の日事業の内容 ■

「地質の日」前後には、各地域の博物館等を中心として、地質図、化石、鉱物、地震、火
山等をテーマにした展示やイベントを始めとして、記念出版物の刊行、各地のジオパーク
や博物館で地質に関連した野外見学会やツアーなどの記念事業が開催されます。これを
機会に、地質について地域の人々の理解が深まることが期待されます。また、昨年新型コ



7]



新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、自宅で楽しめるよう開設したデジタルコンテンツの地質の日特設ポータルサイトは、コンテンツを拡充しつつ引き続き公開しています。



5月10日は
地質の日



5月10日を中心に全国でイベント開催

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

E-mail : geologyday-jimu-ml@aist.go.jp

Web : <https://www.gsj.jp/geologyday/>

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、(一社)日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、(国研)産業技術総合研究所、日本科学未来館、(地独)道総研エネルギー・環境・地質研究所、(公社)東京地学協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO 法人)日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 (順不同：2024年2月現在)

撮影地：島根県日御碕 題字：高橋須葉

資料2) 2024年「地質の日」記念イベント一覧

開催地域	主催	日時	イベント名
北海道	三笠市立博物館	2024年2月3日(土)～4月21日(日)	ロビー展「古病理学-アンモナイトのケガと病気」
	三笠市立博物館・三笠市立博物館ボランティアの会	2024年3月2日(土)～5月12日(日)	企画展「北海道のアンモナイト ～サントニアン編～」
	北海道博物館	令和6年4月12日(金)～8月8日(木)	恐竜絶滅の痕跡-北海道浦幌町の白亜紀(K)/古第三紀(Pg)境界層の剥ぎ取り標本-
東北	岩手県立博物館	2024年3月17日(日) 13:00～14:30	たいけん教室「アンモナイトの消しゴムづくり
	岩手県立博物館	2024年3月24日(日) 10:00～11:30、13:00～14:30	たいけん教室～みんなでためそう～「天然石のフォトフレーム」
	大船渡市民文化会館 指定管理者 大船渡ぶんかクリエイティブ	2024年5月11日(土) 10:00～12:00	アンモナイトの古生物学×大船渡市の古生物学～大船渡市化石産地としての魅力を発信!
関東	一般社団法人日本地質学会	2024年5月1日(水) 午後～5月12日(日) 14時まで	惑星地球フォトコンテスト第15回ほか入選作品展示会
	一般社団法人日本地質学会関東支部・一般社団法人関東地質調査業協会	2024年4月20日(土) 14:00-16:35	講演会「デジタル詳細地形データを用いた地表変位計測で見る地震災害」
	一般社団法人日本地質学会	2024年5月12日(日) 9:30～12:05	オンライン一般講演会「令和6年能登半島地震による地殻変動と地盤災害」
	一般社団法人日本地質学会	2024年5月19日(日)	街中ジョ散歩in Tokyo「身近な地形・地質から探る麻布の歴史と湧水」
	多摩六都科学館	2024年4月1日(月)～4月14日(日)、5月3日(金・祝)～6日(月・祝) ①11:00～11:45 ②12:00～12:45 ③14:00～14:45 ④15:00～15:45 (時間内随時入れ替え制) ※4月8日(月)～11日(木)、15日(月)、22日(月)、30日(火)、5月7日(火)～9日(木)は休館日	化石のかたちをうつしとろう!
	多摩六都科学館	2024年4月27日(土)～29日(月・祝)、5月3日(金・祝)～6日(月・祝) 11:00～15:00 (一回の体験所要時間:10分程度、時間内随時入れ替え制)	折り紙で地球をつくろう
	多摩六都科学館	2024年5月18日(土) 10:00～11:30	多摩川の川原で小石の観察会
	多摩六都科学館	2024年5月25日(土)、26日(日) ①12:30～13:30 ②14:30～15:30	アンモナイト化石のストラップをつくろう
	三浦半島活断層調査会	2024年6月2日(日) 10:00～16:00	観察会「深海から生まれた城ヶ島」地層見学会
	公益財団法人深田地質研究所	2024年5月23日(木) 13:00～16:15	第2回 深田研講座「ヒマラヤにおける斜面災害の背景とその凄まじさを理解する」
	佐野市葛生化石館	2024年5月11日(土) 10:00～15:00	地質の日記念イベント「化石とあそぼう」
	地質標本館	2024年4月27日(土) 14:00～15:00	地質標本館 講演会「手にとれる!? ミクロな化石 一時代を決める放散虫のかたち」
	地質標本館	2024年3月5日(火)～4月21日(日)	地質標本館 特別展「GSJのピカイチ研究-2023年のプレスリリース等で発信した成果より-」
	地質標本館	2024年4月23日(火)～9月1日(日)	地質標本館 特別展「プレートテクトニクスがつくる なぞの温泉『深部流体』」
	地質標本館	2024年3月9日(土)	地質標本館 ガイドツアー
中部	蒲郡市生命の海科学館	2024年2月10日(土)～2024年5月12日(日)	企画展「三葉虫にもう夢中!」
	蒲郡市生命の海科学館	2024年4月13日(土) 13:30～14:30	化石発掘に挑戦!
	蒲郡市生命の海科学館	2024年4月14日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30	クラフト体験 首長ハコ竜!?
	蒲郡市生命の海科学館	2024年4月21日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30	サメの歯の化石をさがそう!
	名古屋大学宇宙地球環境研究所 蒲郡市生命の海科学館 共催企画	2024年3月31日(日) 10:00～16:00	海を観る・地球を知る2024～体験!海洋研究最前線 in 蒲郡～
	蒲郡市生命の海科学館	2024年3月31日(日) 13:00～14:00	講演会「ロボットが海を測るーアルゴフロートによる全球海洋観測ー」
	一般社団法人日本地質学会 蒲郡市生命の海科学館 共催	2023年12月2日(土)～2024年3月3日(日) 4月7日(日) 【好評のため期間延長しました!】	第14回 惑星地球フォトコンテスト入賞作品展
	一般社団法人 糸川市観光協会	鉱物学編:2024年4月27日(土)9:00～15:30/地質学編:2024年6月15日(土)9:00～15:30/堆積学編:2024年6月16日(日)8:30～14:45/古生物学編:2024年6月29日(土)9:00～15:30/地質学編:2024年6月30日(日)9:00～15:40	Itoigawa Background Story Tour ~season 3~
中津川市鉱物博物館	2024年4月27日(土)～9月1日(日)	第30回企画展「地形・地質からみる苗木城」	
中津川市鉱物博物館	2024年5月5日(日・祝) 13:30～14:30	石割体験	
近畿	地学団体研究会大阪支部・日本地質学会近畿支部・大阪市立自然史博物館	2024年5月11日(土) 14:00～16:00	第41回地球科学講演会「日本列島の起源と大和構造線」
	日本堆積学会、大阪工業大学、大阪市立自然史博物館	7月14日(日) 午前(10:00～12:00)または午後(14:00～16:00)	室内実習「水路実験で地層のできかたを学ぼう」
	きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会	2024年5月12日(日) 14:00～15:30	きしわだ自然友の会総会記念講演会「小惑星リュウグウと地球ー試料分析で見てきた太陽系のはじまりー」
	きしわだ自然資料館	2024年5月19日(日) 13:30～16:00	地質の日記念・きしわだ恐竜教室子どもの部2024
中国、四国	(一社)土佐清水ジオパーク推進協議会	2024年4月24日(水)～5月20日(月) 9:00～17:00 ※火曜休館	土佐清水ジオパーク地質の日展示「科学者が見た景色 地図から読み取る大地の物語」
	秋吉台の自然に親しむ会・秋吉台科学博物館	2024年5月12日(日) 10:00～16:00	自然観察会「秋吉台の地質と新緑の草原」

資料2) 2024年「地質の日」記念イベント一覧

九州	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館	2024年5月12日(日) 10:30~11:30、13:30~14:30 (2回実施します)	地質の日記念 世界にひとつだけの岩石標本を作ろう
	防府市青少年科学館 ソラール	2024年5月5日(日) 13:00~15:00	液状化現象を実験しよう
	徳島県立博物館	2024年5月12日(日) 13:00~15:00	土柱周辺の地質見学
九州・沖縄	「地質の日」くまもと実行委員会・日本地質学会西日本支部・熊本県環境センターほか共催	2024年5月12日(日) 10:00~16:00	第16回「地質の日」企画 身近に知る「くまもとの大地」
	天草市立御所浦恐竜の島博物館	2024年5月4日(土) および5日(日)、各13:00~15:00	第1回 岩石・化石なんでも鑑定相談室
	NPO法人霧島ジオパーク友の会	2024年5月12日(日) 10:00~16:30	山ヶ野金山めぐりと砂金さがし
	上野原縄文の森	2024年4月23日(火)~5月31日(金)	地層が語る鹿児島島の歴史 ~見る・聞く・触るジオの日~